

# 海陽だより

荒尾海陽中学校  
第 1 7 号 (R7.3.17)  
「挑戦！ 一步前進」  
文責：校長

## ❀ 卒業式 ❀



【体育館の準備の様子】



【北野君の送辞】

ました。このような厳粛な式を海陽中学校の伝統にしていきたいと強く思いました。

本年度の卒業式では、有明新報新聞にも載りましたが卒業生の歌の「花開く季節に」は、「卒業式にオリジナル曲を歌いたい。」という生徒の挑戦から歌詞のキーワードを3年生が作り、金島先生が作曲されて卒業式で披露されました。

「始まりは花の季節／プレハブでの出会いから／旅立ちも花の季節／ためらいがちに歩き出す／春風の香り、夏の日の木陰／秋空の澄んだ青、冬のひだまり／教室のにおい、先生の笑顔／グラウンドの土ぼこり、友達の笑い声／挑み続けて走り抜けた／仲間の涙とぬくもりは／今でもこの胸に／光り輝く宝石のような／かけ



【卒業生による歌】

がえのない時間、もうもどらない／始まりは花の季節／プレハブでの出会いから／旅立ちも花の季節／振り向かず歩き出す」  
世界に一つしかない卒業オリジナルソングでした。



【篠塚君の答辞】



【卒業証書授与】

## 「2年生の立志式」



3月13日に2年生の立志式が行われました。立志式とは、中学2年生が将来の夢や目標を明確にし、大人になる自覚を深めるための儀式です。自分の将来を考え、人生の指針を立てることで、前向きに自己の将来を設計する力を培うことを目的としています。すなわち、将来の夢や目標を明確にする。大人になる自覚を持つ。強い

意志を表明する。ということです。来年度は3年生。自分の意志で進路を決定しなくてはなりません。人に流されるのではなく、目標をしっかりとって実践し、自分の意志で夢を切り開いていく意思表示をすることになります。色紙に自分の志す漢字を一文字書き、一人一人発表していきました。みんな立派な意思表示ができました。



## ～本年度最後の学校運営協議会～

第5回海陽中学校運営協議会を3月13日に行いました。今回は、保護者や生徒、教職員の学校評価結果を説明し、一年間を振り返るとともに課題を明確にし、来年度へのご意見をいただきました。また、新生徒会執行部の生徒から自己紹介と来年度に向けての生徒会の方向性も発表しました。本年度はこの海陽だよりでも紹介しました「ふれあいクリーン大作戦」を生徒会が提案し、この学校運営協議会の委員さんからご意見をいただきながら実施し、海陽中学校の地域貢献の第一歩を踏み出すことができました。さて、来年度は生徒会がどのような取り組みを提案するのか楽しみです。

学校運営協議会の皆様、一年間ありがとうございました。

## ごあいさつ

令和6年度の学校だより「海陽だより」も本号を持って最終号とします。この学校だよりでは、日頃の生徒たちの取組や頑張り、学校行事やお知らせ等、できるだけ学校の様子が皆様に伝えられるようにと思い、発行してきました。わかりづらい表現などもあったかもしれませんが、ご了承ください。また、保護者の方から「『海陽だより』を楽しみにしています。」という有り難い声を聞かせていただき、感無量でした。あと本年度も残すところ1週間。クラスマッチと修了式を迎えるだけとなりました。海陽中は最後まで『挑戦！そして一步前進』していきます。一年間ありがとうございました。